

秋田からの
発信

公開
フォーラム
定員 200名
入場無料

人口縮小時代を
生き抜くしなやかな
地域コミュニティ

2017年 11月17日 金
13:30~16:30 (開場 13:00)

【お問い合わせ】 公立大学法人国際教養大学
アジア地域研究連携機構事務局
〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿袋

会場 / カレッジプラザ 講堂
秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階

参加費 / 無料 使用言語 / 日本語

【お申込】大学HP、QRコード、またはFAX(018-886-5910)から
お申し込みを受け付けております。

TEL 018-886-5844 (平日 9:00~17:00)
FAX 018-886-5910

※お預かりした個人情報は、当フォーラムの運営以外には使用いたしません。

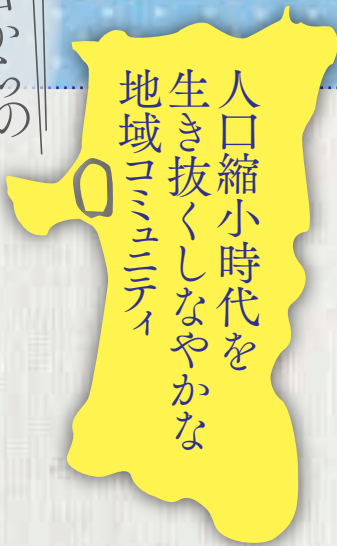
【主催】 公立大学法人国際教養大学 アジア地域研究連携機構、公益財団法人はまなす財団、
一般財団法人北海道東北地域経済総合研究所

【特別協賛】 一般財団法人秋田経済研究所、株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング

【後援】 秋田県、仙北市、五城目町、公益財団法人秋田県ふるさと定住機構、一般社団法人秋田経済同友会、
株式会社日本政策投資銀行、株式会社秋田銀行、株式会社秋田魁新報社 (順不同)



秋田からの
発信



人口減の加速化するわが国では各地方自治体が「総合戦略」と「人口ビジョン」に基づき、10年、20年先の姿を見据えた取り組みを進めようとしているが、「限界集落」の問題をはじめとして、地域コミュニティの衰退・消滅は深刻さを増している。こうした背景を踏まえ、国内で「人口縮小」と高齢化が最も深刻である秋田県から、地域コミュニティがいかにして人口縮小時代を生き抜き、さらには人口の長期的安定を実現できるのか、北海道など他地域の事例も踏まえて具体的に研究し、その成果を県内及び他地域に提案し、情報発信する。

enjoy a local community.



[プログラム]

- 主催者挨拶 国際教養大学常務理事 吉尾啓介
- 来賓挨拶 秋田県副知事 堀井啓一
- 問題提起 国際教養大学アジア地域研究連携機構長 熊谷嘉隆
ほか
- 報告と討論
 - 報告1 「中越地震からの復興にみるコミュニティ再生」
兵庫県立大学准教授 澤田雅浩
 - 報告2 「地域づくり先進事例～北海道の現場から～」
公益財団法人はまなす財団 事業産業部次長 小倉龍生
 - 報告3 「仙北市の取り組み」
仙北市 地方創生・総合戦略統括監 小田野直光
 - 報告4 「五城目町の取り組み」
五城目町 まちづくり課長 澤田石清樹
 - 登壇者による討論とフロア質疑応答
- 閉会の辞 北海道東北地域経済総合研究所 理事長 桑原照雄



会場ご利用の方に限り、専用の立体駐車場をご利用いただけます。ただし車の高さ制限(1.5m)と駐車数に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関・近隣の駐車場をご利用いただくようお願いいたします。



FAX申込書

FAX 018-886-5910 国際教養大学アジア地域研究連携機構事務局宛

お名前	フリガナ
ご連絡先	電話
	E-mail

※お預かりした個人情報は、当フォーラムの運営以外には使用いたしません。